

たか、し



<http://www.suginami-school.ed.jp/takaido4shou/>

杉並区立高井戸第四小学校

自分の世界を押し広げる夏にするために

校長 本橋 忠旗

早いもので、1学期も終わりを迎えようとしています。二十四節気では、「小暑」から「大暑」へと夏の盛りの季節に移り変わってきました。1学期間、様々な状況の変化や教育活動に対し多大なるご理解とご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。

さて、いよいよ夏休みが始まります。昨夏の自由研究で、印象に残る作品がありました。一つは、お母さんの一日について、その時間の使い方や内容を細かく取材し、自分で追体験してみるというものでした。感想には、「料理や小さい子の世話が思った以上に大変だった。これからは、積極的にお手伝いをしようと思う。」と書かれていました。もう一つは、走力アップを目標に、家族を「筋力重視」と「技能重視」の2グループに分けて継続して記録を取り続け、その変化をみるというものでした。短期間の結果では、筋力重視のグループの方で記録向上がみられましたが、技能重視のグループも記録が向上したことから、両方を鍛えることが大切という結論でした。過去には、こんな作品に出会ったこともあります。家の改築にあたり、家族の生活パターンを調べ、どのような間取りがふさわしいかを分析し、模型で理想の間取りを再現してみるというものでした。

今年の夏は、パリオリンピックが開催されます。1921年の男子100mの世界記録は10秒4、2024年現在では9秒58、直近の約30年間では0.28秒短縮されています。手動計測と電動計測の違いはありますが、このわずかな時間短縮はどうやって成し遂げられてきたのか、追究してみるのも面白そうです。また夏休みには、8月6日、8月9日、8月15日と日本の歴史の上で、忘れてはならない日があります。「バイバーイ、また明日ね。」と言える世界をどうやって持続、実現させていくことができるか、身近な幸せについても考えさせてみたいものです。

こうしたちょっとした数字の比較や身近な家族、世の中の誰かを思う気持ちから、問題を追究する面白さが生まれてきます。そこには、自由な学びがあり、誰かを幸せにできる可能性が含まれています。こうした学びには、「時間」が必要です。子供たちには、どうかこの夏休み、多くのことを感じ、考える、学びの多い時間にしてもらいたいと期待しています。

しかし、こうした課題意識をもたせるのは難しいことです。ある本には、「やりたいことを探してごらん。好きなことは何？」といわれると袋小路に入ってしまう、ならば「自分が解決したいと思う小さな問題を探してごらん」と問い掛けたり、会話の中で話題を掘り下げたりしていくことが重要と書いてありました。

自力で問題を解決した過程では、自信が生まれ、学びの意欲へとつながります。今年の夏が、そのような夏になることを願います。

【参考】落合陽一 働き方5.0 ～これからの世界をつくる仲間たちへ～ 小学館新書 2020

【携帯電話について】

本校では、児童が、安全管理上の理由で学校に携帯電話を持ってくる場合（ランドセル内）、担任に連絡帳にて知らせ、その後、校長との面談となっておりますのでご承知おきください。

昨年度、面談を行っている方も新年度になりましたら再度面談を行いますのでよろしく願いいたします。